

《参考資料》

(1) 住民による『緊急度判定』とは

住民が急な病気や怪我をしたときに、症状などから適切な受診のタイミング（直ちに医療機関を受診すべきか、2時間以内に受診すべきか、24時間以内か、明日でも良いか等）を判断し、それをうけて、適切な受診手段（救急車を要請するのか、自分で医療機関に行くのか、民間搬送事業者等を利用するのか）、適切な受診先（適切な診療科目及び医療機関等）を選択することをいう。

(2) 住民の緊急度判定のツールについて

○救急車利用リーフレット

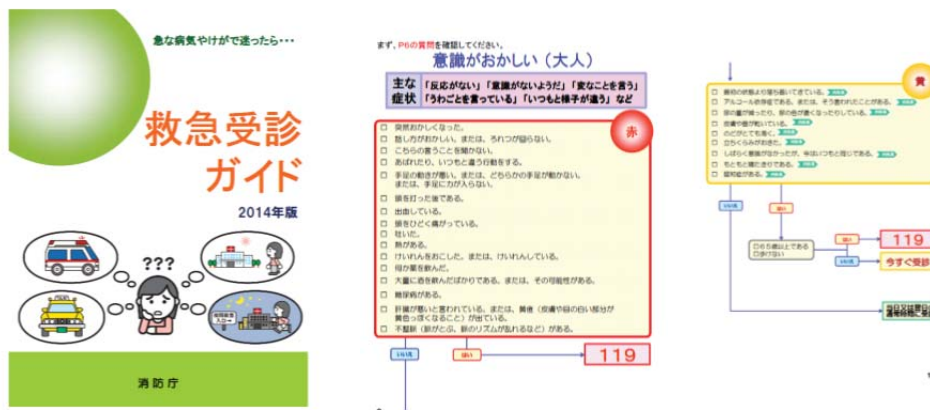
緊急度判定体系の概念の普及を目的としたシンプルな普及啓発資材



消防庁 HP http://www.fdma.go.jp/html/new/kyuukyusya_riyou_leaflet.pdf

○救急受診ガイド 2014年版

急な病気やけがをして「病院を受診した方がいいか?」「救急車を呼んだ方がいいか?」と迷った時に、判断の一助になることを目的とした普及啓発資材



消防庁 HP

http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h25/kinkyudohantei_kensyo/03/kyukyuyusinguide2014.pdf

○小児救急支援アプリ

大阪市消防局では、小児の緊急度判定と医療機関の検索をスマートフォンでまとめて行える「小児救急支援アプリ」を開発し、平成27年9月から運用を開始している。このアプリでは、症状、症候を画面上で選択していくと緊急度に応じて、「119番通報」「#7119」「病院検索」の画面が表示される。緊急度が「高」の場合は119番通報と#7119、「中」の場合は#7119と病院検索、「低」の場合は病院検索がワンタッチで可能となる。病院検索については、GPS機能がオンのときに近くの受診可能な医療機関が案内され、ワンタッチで電話が可能となり、医療機関までの経路が表示される。なお、このアプリのうち、緊急度判定については、他地域においても使用可能となっている。

図表 3-71 大阪市消防局「小児救急支援アプリ」



平成27年度 救急業務のあり方に関する検討会 報告書抜粋

○救急安心センター事業（#7119）

急な病気やけがをして、救急要請はためらうが、症状が強くなっている等の心配が増したときに、教育を受けたオペレーターから助言を受けることができる相談窓口である。



平成25年度 緊急度判定体系に関する検討会 報告書抜粋

平成28年7月1日現在の救急安心センター事業（#7119）の状況

東京都、大阪府、奈良県、和歌山県田辺市、北海道札幌市、
神奈川県横浜市、福岡県